

OSSの最新の動向と 企業におけるOSSガバナンス

株式会社オージス総研
グローバルビジネスサービス部
吉井 雅人

OSS最新動向

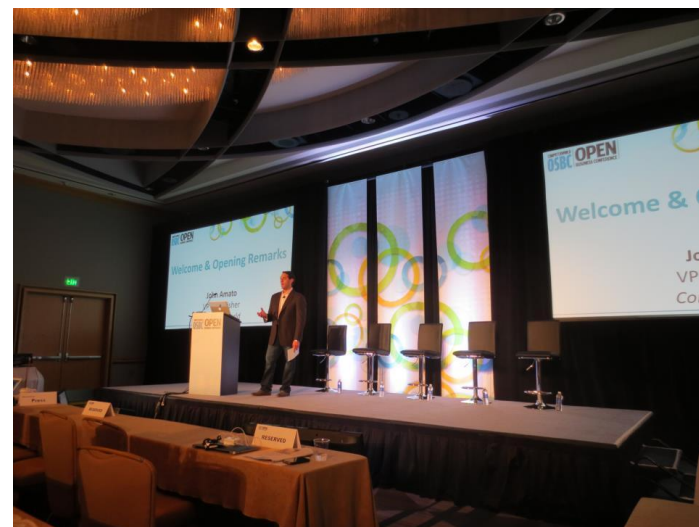
日本のOSS管理傾向

OSSガバナンスの実際

- ASF(Apache Software Foundation) においては強いライセンス(GPLなど)でなくてもOSSの生態系を維持できる仕組みがある
- Web関連のOSSではコミュニティ側もユーザ側も弱いライセンスを求めているケースもある
- とはいえGPLは全体の約60%で、今後も高い割合を維持することが予想される
 - ライセンスが更に淘汰される可能性



- Permissive なライセンスの増加
- GitHubの普及により、不明なライセンスのOSSが大量に出現
- クラウドの普及とそれに対するAGPLの適用
- 商用コードの流出
 - Hackchina
- Q&Aサイトでのライセンス問題
 - CodeProject
 - StackOverflow



OSS最新動向

日本のOSS管理傾向

OSSガバナンスの実際

- 品質保証部が主導
- プロジェクトごとにポリシーを決定
- 製品受け入れ(納品)検査時に実施
- Permissive なライセンスの利用



OSS最新動向
日本のOSS管理傾向
OSSガバナンスの実際

■ポリシーの策定

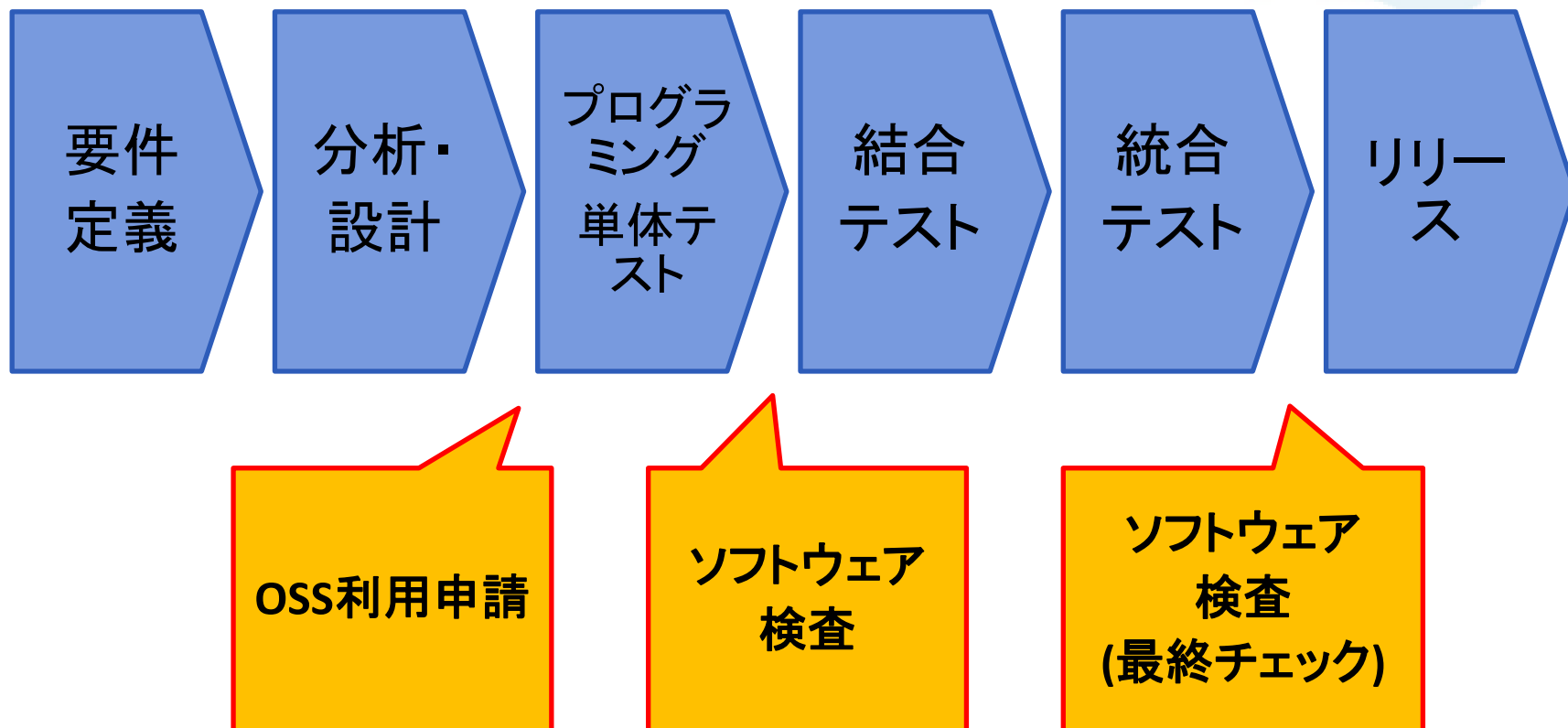
- OSSの利用の仕方と、どこまでソフトウェアを配布するかによって決定

■ソフトウェアの検査

- 利用しているOSSとそのライセンスの特定

■ライセンス条件の遵守

- OSSライセンスの利用条件を把握



■ BSD License 類型

■ LGPL・MPL類型

■ GPL類型



- 会社の文化を変える。教育、啓蒙活動
- ソフトウェアの中身を可視化すること。
正確なBOMを作ること
- ライセンスの条件と、利用方法のメトリックスを作る



米国の取り組みも日本と同じ！



Thank you

Questions ?